



7月6日、国崎町の熨斗あわびまつりで、国崎保育所の園児や国崎小学校の児童らが「南中ソーラン」の演舞や太鼓演奏を披露し、まつりを盛り上げました。「鳥羽物語」では、そろいの衣装を着た園児5人が、保育士さん手作りの太鼓をたたき、後ろで踊る小学生のお兄さんお姉さんをサポートしました。30度を超える暑さの中、演奏を終えた園児たちは「暑かったけど、太鼓をたたくのは楽しかったよ」と話してくれました。

リズムに合わせて、ドントドント

まちの話題 18号



市内の小学校11校から4年生以上の男女162人が参加し、鳥羽中央公園相撲場で6月28日、第39回鳥羽市小学校相撲大会が行われました。

会場に詰め掛けた各学校の応援団や父母ら500人の見守る中、ちびっこ力士たちは個人戦・団体戦などで熱戦を繰り広げました。

豪快な投げ技が決まると、大きな拍手や歓声上がるなど、会場は大いに盛り上がっていました。

手に汗握る、土俵際



歯の衛生週間に行われた、三重県歯科医師会志摩支部主催の「第57回母と子のよい歯のコンクール」で、大明東町の中川由巳子さん、礼菜ちゃん親子が見事、優良賞に選ばれました。

由巳さんは、毎朝、こどもたちに仕上げ磨きをしてあげてを心掛けており、礼菜ちゃんも「むし歯になるのは、いやだから」と、昼と夜は、自分できちんと歯を磨いているそうです。

中川さん親子は、礼菜ちゃんの兄、貴詞くんのときにも入賞しており、2年連続の受賞となりました。

毎日きちんと磨いてます



第39回全国ママさんバレーボール大会県予選会で、厳しい戦いを勝ち抜き、鳥羽市で初めて全国大会への切符を手にした安楽島クラブのメンバーが、7月16日、市長に出場の報告をしました。

市長から「緊張すると普段の実力が出せないなので、好きなバレーを楽しむつもりで、けがのないように頑張ってください」と激励を受けると、キャプテンの中村千穂美さんは、「いつもの安楽島クラブのプレーができるように一戦一戦頑張ります」と抱負を語りました。

大会は、7月31日～8月3日にかけて神奈川県川崎市で行われます。

自分たちのバレーを忘れずに